

平成 23 年度 事業報告書

自 平成 23 年 4 月 1 日
至 平成 24 年 3 月 31 日

東京都渋谷区千駄ヶ谷 1 丁目 25 番 12 号

公益財団法人東京二期会

平成 23 年度 事業報告書

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

1. 公益目的事業 1

1-1 オペラ公演

1-1-1 オペラ自主公演（二期会創立 60 周年記念公演）

・東京二期会オペラ劇場

ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト作曲『フィガロの結婚』オペラ全 4 幕
字幕付原語<イタリア語>上演

平成 23 年 4 月 28 日、29 日、30 日、5 月 1 日（4 回） 東京文化会館大ホール

指揮：デニス・ラッセル・ディヴィス

演出：宮本亜門

合唱：二期会合唱団

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

出演者：アルマヴィーヴァ伯爵／鹿又透、伯爵夫人／澤畠恵美、フィガロ／久保和範
スザンナ／菊地美奈、ケルビーノ／榎本恵子 ほか

主催：公益財団法人東京二期会

協賛：ブラザー工業株式会社、株式会社 SHEMESH

助成：平成 23 年度文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）

公益財団法人野村財団、公益財団法人朝日新聞文化財団

入場者数：5,976 名（入場率 64.9%） チケット販売枚数：5,349 枚

公演期間中、出演者や二期会関係者が東日本大震災の被災地に送る義援金の協力を呼びかけ、4 日間で 817,721 円が集まり、東京都生活文化局を通して被災地へ届けられた。震災の影響で来場見込みは下回ったが、海外アーティストが来日を臆する中、予定通りに公演を行った意義は大きい。舞台は演出家や指揮者の丁寧な指導により、アンサンブルが特に好評だった。上質な舞台芸術に仕上がった。

・東京二期会オペラ劇場

ジャコモ・プッチーニ作曲『トゥーランドット』オペラ全 3 幕 字幕付原語<イタリア語>上演

平成 23 年 7 月 6 日、7 日、9 日、10 日（4 回） 東京文化会館大ホール

指揮：ジャンルイジ・ジェルメッティ

演出：栗國淳

合唱：二期会合唱団、NHK 東京児童合唱団

管弦楽：読売日本交響楽団

出演者：トゥーランドット姫／横山恵子、カラフ／福井敬、リュウ／日比野幸 ほか

主催：公益財団法人東京二期会、財団法人読売日本交響楽団

協賛：ブラザー工業株式会社、サクラ精機株式会社、サクラファインテックジャパン株式会社

助成：平成 23 年度文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）、

公益財団法人ロームミュージックファンデーション、

公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団、公益財団法人花王芸術・科学財団

入場者数：5,737 名（入場率 62.3%） チケット販売枚数：4,905 枚

公演期間中、二期会関係者が東日本大震災の被災地に送る義援金の協力を呼びかけ、4 日間で 329,919 円が集まり、東京都生活文化局を通して被災地へ届けられた。出演予定だったカラフ役 松村英行は体調不良の為降板し、ルディ・パークが出演した。演出も舞台装置も華やかな舞台となり、音楽は指揮者ジェルメッティ氏を迎えた結果、水準の高い演奏が披露できた。

- ・東京二期会オペラ劇場／ライン・ドイツ・オペラ（デュッセルドルフ／デュイスブルク）との共同制作
ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト作曲『ドン・ジョヴァンニ』オペラ
全2幕 字幕付原語<イタリア語>上演

平成23年度（第66回）芸術祭協賛公演

平成23年11月23日、24日、26日、27日（4回） 日生劇場

指揮：沼尻竜典

演出：カロリーネ・グルーバー

合唱：二期会合唱団、びわ湖ホール声楽アンサンブル

管弦楽：トウキョウ・モーツアルトプレーヤーズ

出演者：ドン・ジョヴァンニ／黒田博、騎士長／長谷川顯、ドンナ・アンナ／増田のり子、
ドン・オッターヴィオ／今尾滋、ドンナ・エルヴィーラ／佐々木典子 ほか

主催：公益財団法人東京二期会

共催：日生劇場[公益財団法人ニッセイ文化振興財団]

協賛：プラザー工株式会社

助成：平成23年度文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）

東京都芸術文化発信事業助成

入場者数：4,004名（入場率74.4%）

チケット販売枚数：3,264枚

本企画はライン・ドイツ・オペラと共同で制作され、日本公演後にドイツで公演される。海外からのスタッフは計画通り来日した。この共同制作の意図する東京からの発信、制作費のシェアを無事実施することができた。

- ・東京二期会オペラ劇場／伊パルマ王立歌劇場との提携公演

ジュゼッペ・ヴェルディ作曲『ナブッコ』オペラ全4部

字幕付原語<イタリア語>上演

平成24年2月17日、18日、19日（3回） 東京文化会館大ホール

指揮：アンドレア・バッティストーニ

演出：ダニエレ・アバド

合唱：二期会合唱団

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

出演者：ナブッコ／上江隼人、イズマエーレ／松村英行、ザッカーリア／ジョン・ハオ、
アビガイッレ／板波利加、フェネーナ／中島郁子、アブダッロ／塚田裕之 ほか

後援：イタリア大使館、イタリア文化会館

主催：公益財団法人東京二期会、社団法人日本演奏連盟

協賛：プラザー工業株式会社、日本興亜損害保険株式会社

助成：平成23年度文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）

2012都民芸術フェスティバル参加公演

入場者数：5,341名（入場率77.3%）

チケット販売枚数：4,593枚

イタリアのパルマ王立歌劇場との提携により同地で行われた演出を我が国で紹介することとなった。本作品はヴェルディ初期の代表作であるが台本の脆弱性を内包している。従って演出効果により本作品に別の光を見出す手法は困難であり、音楽の充実を図ることこそが、この作品の偉大さを導きだすのである。今回のダニエレ・アバド演出も音楽に多くを語らせ、その大きな装置でありながらも機能的舞台装置は多くの聴衆の支持を得ることに成功した。歌手はいずれも高水準であり、我が国の音楽文化の充実を示すことができた。

1-1-2 オペラ共催公演

・共同制作公演

リヒャルト・ワーグナー作曲『タンホイザー』オペラ全3幕　字幕付原語<ドイツ語>上演

平成24年3月10日、11日　　びわ湖ホール大ホール

平成24年3月24日、25日　　神奈川県民ホール大ホール

指揮：沼尻竜典

演出：ミヒヤエル・ハンペ

管弦楽：(びわ湖) 京都市交響楽団、(神奈川) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

出演者：ヘルマン／妻屋秀和、タンホイザー／福井敬、エリーザベト／佐々木典子

ヴェーヌス／小山由美、ヴォルフラム／大島幾雄 ほか

主催：公益財団法人東京二期会、公益財団法人びわ湖ホール、公益財団法人神奈川芸術文化財団、

財団法人京都市音楽芸術文化振興財団、財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団

助成：平成23年度優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業（共同制作公演）

入場者数：6,542名

1-2 演奏会

1-2-1 演奏会自主公演（二期会創立60周年記念公演）

・二期会サロンコンサート（5回） カワイ表参道コンサートサロンパウゼ

平成23年5月11日（入場者数111名、チケット販売枚数107枚）、7月13日（118名、122枚）、10月5日（96名、103枚）、12月7日（86名、102枚）、平成24年2月8日（105名、112枚）

入場者数：合計516名（平均入場率80.6%）　チケット販売枚数：合計546枚

二期会会員・準会員の中からオーディションにより、選抜された会員が出演した。審査員は二期会幹事演奏委員と代議員演奏委員の合同で行った。これまで出演者は1公演1～2名としていたが、今回は会員の出演機会を増やすことを目的とし1公演2～3名と増やした。選ばれた出演者はテーマを考え、特にクラシック音楽を身近に紹介する工夫をしている。

・二期会新進声楽家の夕べ（1回） 東京文化会館小ホール

平成23年6月29日

入場者数：577名（入場率88.90%）　チケット販売枚数：631枚

二期会オペラ研修所第54期を成績優秀で修了した20名による、若手歌手のお披露目コンサート。出演資格は、研修所の総合成績上位20位が選ばれた。

・第6回二期会研究会駅伝コンサート（1回） 東京文化会館小ホール

平成23年7月31日

入場者数：678名（入場率104.47%）　チケット販売枚数：734枚

企画は二期会研究会駅伝コンサート実行委員会が行う。二期会会員が自主的に活動している12の研究会のうち、10の研究会が集まった。今年は趣向を凝らし、各研究会から1名が“自身のこだわりの1曲”を披露した。

・二期会クリスタルコンサート（1回） すみだトリフォニーホール小ホール

平成23年11月17日

入場者数：236名（入場率93.65%）　チケット販売枚数：225枚

“二期会”にオーディション、幹事推薦、全国の二期会から移籍などにより入会した歌手を対象にしたお披露目のコンサート。司会は二期会幹事演奏委員が担当し、出演者や曲目を紹介する。すでに演奏活動のキャリアを積んでいる会員もいる為、コンサートの内容は高い評価を得ている。

1-2-2 文化庁受託公演

- 平成 23 年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
明日を担う音楽家による特別演奏会（1回）東京オペラシティコンサートホール
平成 24 年 2 月 7 日

入場者数：638 名（56.61%）チケット販売枚数：576 枚

（備考：舞台演出の都合上、販売不可能な席が発生した。今回は販売可能座席数 1,127 席となった）

文化庁では将来我が国を担う芸術家を養成するため、昭和 42 年度から若手芸術家を海外に派遣し、研修の機会を提供する「芸術家在外研修（新進芸術家海外研修制度）」を実施している。今回はその研修を修了した方に演奏の環境を充実させ、その育成を目指すところである特別な演奏会である。

- 平成 23 年度文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」（巡回公演）

北海道と東北地方の全 9 小・中学校でワークショップと合唱公演を行った。

＜ワークショップ＞

9 月 5 日 枝幸町立枝幸南中学校
9 月 6 日 平取町立振内小学校
9 月 7 日 札幌市立平岸小学校
9 月 8 日 函館市立的場中学校
9 月 9 日 弘前市立北辰中学校
9 月 12 日 むつ市苦生小学校
9 月 13 日 奥州市立衣川中学校
9 月 14 日 羽後町立三輪小学校
9 月 15 日 角田市立西根小学校

＜公演開催校＞

11 月 7 日 枝幸町立枝幸南中学校
11 月 9 日 平取町立振内小学校
11 月 10 日 札幌市立平岸小学校
11 月 14 日 函館市立的場中学校
11 月 15 日 むつ市苦生小学校
11 月 16 日 弘前市立北辰中学校
11 月 17 日 奥州市立衣川中学校
11 月 18 日 羽後町立三輪小学校
11 月 21 日 角田市立西根小学校

1-3 オペラ講座の開催（計 2 回）

- 「美しき女戦士たち」（1回）

平成 23 年 10 月 26 日 イイノホール

協賛：イイノホール＆カンファレンスセンター

- 「オペラの決闘に学ぶ男の美学」（1回）

平成 24 年 3 月 8 日カワイ表参道コンサートサロンパウゼ

入場者数：463 名（2 回分）チケット販売枚数：594 枚（2 回分）

青島広志氏を講師に迎えオペラの魅力を説く。

1-4 二期会通信の発行

「二期会通信」を年 4 回（6 月 1 日、9 月 1 日、12 月 1 日、3 月 1 日）発行した。

1 号 20,000 部 × 4 回 合計 80,000 部発行

1-5 事業資金確保のための募金活動

民間からの募金活動は法人賛助会員、個人賛助会員、特別寄付金の募集を行った。

- 法人賛助会員 42 会員 10,500,000 円
- 個人賛助会員 129 会員 14,800,000 円
- 特別寄付金 85 法人、個人 6,681,800 円

2. 公益目的事業 2

2-1 オペラ歌手の養成

2-1-1 二期会オペラ研修所

予 科：在籍数 76名程度 基礎音楽表現、演技表現の修得を目的とした。

本 科： 同 74名程度 より高度な音楽表現、演技表現の修得を目的とした。

マスタークラス：同 40名程度 オペラ舞台上の総合表現力の修得を目的とした。

予科、本科は年間を前期と後期に分け、マスタークラスは更なる実践力を身につける為、前期、中期、後期と分かれている。予科のカリキュラムは年間でモーツアルトを中心に、二重唱、三重唱を原語で研修し、オペラの歌唱演技を学んだ。本科は日本人であるには必須である邦人才オペラ作品を必修とし、日本語歌詞の歌唱、着付け所作も学んだ。並行してイタリア、ドイツ、フランス、英米のオペラ作品を選択し、レパートリーを広げオペラの豊かな表現力を培う。マスタークラスは前期にバロック・オペラを研修、中期にドイツ・オペラ作品を中心に、近現代の英米、フランスのオペラを課題とし、音楽のみならず作品解釈に取り組みプロフェッショナルなオペラ歌手としての実践力を身につける。試験は予科と本科が年間5回（アリア試験2、歌曲試験1、試演会2）、但し本科は邦人作品チェックが1回ある。マスタークラスは試験6回（アリア試験2、歌曲試験1、試演会3）が終了している。

2-1-2 第88回二期会オペラ研修所コンサート

平成23年12月21日（1回） 北とぴあさくらホール

共催：財団法人北区文化振興財団、東京都北区

入場者数：552名 チケット販売枚数：298枚

予科、本科、マスタークラス在籍生の中から成績優秀者（約20名）が選ばれ、成果を披露するコンサート。北区区民300名を招待した。

2-1-3 インターン制度

オペラ企画委員会の管轄下でオペラ歌手の養成を行う。自主公演1演目に対して、1～3名をアンダースタディに採用し、オペラ歌手の実践教育を行った。研修期間は1年間とする。

研修演目

『トゥーランドット』：（リュウ） 経塚果林

『ドン・ジョヴァンニ』：（ドン・ジョヴァンニ） 坂下忠弘、（ドンナ・アンナ） 鈴木麻里子

『ナブッコ』：（ナブッコ） 佐藤望、（イズマエーレ） 新海康仁、（フェネーナ） 宮澤彩子

3. 収益事業等

3-1 収益事業

3-1-1 依頼公演の開催

・オペラ『ドン・ジョヴァンニ』W.A.モーツアルト作曲

独ライン・ドイツオペラとの共同制作

オペラ全2幕 字幕付原語<イタリア語>上演

平成23年12月4日 びわ湖ホール大ホール（1回）

指揮：沼尻竜典

演出：カロリーネ・グルーバー
合唱：二期会合唱団、びわ湖ホール声楽アンサンブル
管弦楽：トウキョウ・モーツアルトプレーヤーズ
主催：公益財団法人びわ湖ホール

- ・広島交響楽団 第316回定期演奏会
ステージ形式／ダイジェスト版 字幕付『タンホイザー』～愛と救済～R.ワーグナー作曲
平成24年2月24日 広島市文化交流会館（1回）
指揮：沼尻竜典
出演：タンホイザー／福井敬、エリーザベト／安藤赴美子、ヴェーヌス／小山由美、
ヴォルフラム／黒田博
主催：公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

3-2 共益事業

3-2-1 会員・研究会・リサイタル公演（16件）

平成23年4月22日	二期会イタリア歌曲研究会	旧東京音楽学校奏楽堂
5月5日	文屋小百合ソプラノリサイタル	東京文化会館小ホール
5月8日	二期会フランス歌曲研究会	王子ホール
5月24日	湯浅桃子ソプラノリサイタル	ミレニアムホール（台東区）
6月4日	二期会日本歌曲研究会	旧東京音楽学校奏楽堂
7月5日	川本伸子ソプラノリサイタル	津田ホール
9月1日	成田淳子ソプラノリサイタル	府中の森芸術劇場 ウィーンホール
9月20日	二期会イタリア歌曲研究会	東京文化会館小ホール
9月22日	二期会ロシア歌曲研究会	東京文化会館小ホール
10月28日	岸本力バスリサイタル	東京文化会館小ホール
11月2日	佐竹由美ソプラノリサイタル	浜離宮朝日ホール
11月3日	木村圭子メゾソプラノリサイタル	浜離宮朝日ホール
11月7日	二期会ドイツ歌曲研究会	津田ホール
11月23日	水口恵子ソプラノリサイタル	王子ホール
平成24年3月5日	前中榮子ソプラノリサイタル	東京文化会館小ホール
3月23日	豊田喜代美ソプラノリサイタル	サントリーホールブルース

3-2-2 演奏会請負事業

- ・音楽劇「ダメといえる勇気を持って～絶対に万引きをしない、させない、見逃さない～」
東京都青少年治安対策本部（4公演）
平成23年7月2日 立川市、平成24年2月20日 国立市、2月28日 東大和市、
3月2日 武藏村山市
- ・東京万引き防止官民合同会議（1公演）
平成23年7月29日 日比谷公会堂

- ・音楽劇「あいさつは魔法の力」
心の東京革命推進協議会（1公演）
平成24年1月30日 八王子市立元木小学校

3-2-3 二期会会報の発行

- ・「二期会会報」を年4回(6月1日、9月1日、12月1日、3月1日)発行した。
1号2,700部×4回 合計10,800部発行

3-2-4 二期会会員異動状況

平成23年3月31日現在	二期会 正会員 1,996名／準会員 534名	計 2,530名
平成24年3月31日現在	二期会 正会員 2,041名／準会員 532名	計 2,573名
	(増減 +45名／ -2名)	計 +43名)

4. 法人概要

4-1 理事会

・平成23年6月13日	平成22年度（12月～3月）事業報告並びに 附属明細書承認の件	可決
	平成22年度（12月～3月）収支報告並びに 附属明細書承認の件	可決
	定期評議員会の日時及び場所並びに目的である 事項等の件	可決
	評議員選定委員人選の承認の件	可決
・平成23年11月25日	事務局長及び次長選任の件(決議の省略による)	可決
・平成24年3月28日	平成24年度事業計画承認の件	可決
	平成24年度収支予算承認の件	可決
	オペラ企画委員長及び委員の選任の件	可決
	二期会オペラ研修所企画委員長および委員の選任の件	可決

4-2 評議員会

・平成23年6月27日	平成22年度（12月～3月）事業報告並びに 附属明細書の説明	報告
	平成22年度（12月～3月）収支報告並びに 附属明細書承認の件	可決
	評議員選定委員人選について	報告

4-3 評議員選定委員会

・平成23年8月5日	評議員の選任について	可決
------------	------------	----